

## Y17c 紀伊半島周辺の小中学生を対象とした天体望遠鏡の組み立て講座実施報告

池田浩之（和歌山工業高等専門学校）

和歌山工業高等専門学校では、和歌山県紀伊半島周辺の小中学生たちに、科学技術との触れ合いや、さらに高度な研究課題への取り組みの機会を提供するため、2020年11月より、「きのくにジュニアドクター育成塾」を毎年開講している。私は、この育成塾が開始された年度より講師として参加し、二つの講座を担当している。そのうちの一つとして、天文学に興味を持ってもらうために、「天体望遠鏡の組み立て」の講座を開講している。天体望遠鏡の組み立て及び天体観測には、国立天文台天体望遠鏡キットと市販の三脚を使用している。新型コロナウイルス感染拡大防止や一人あたりの指導時間をできるだけ長くするために、1回の講座での参加人数は5人から10人に制限して行った。2020年11月から2022年11月までに9回開催し、合計65名の塾生が参加した。

天体望遠鏡を組み立てる過程は、特に問題なく作業を進めていたが、望遠鏡のピント合わせに苦労している塾生が複数名いた。講座の終わりには、さらに天文学に興味を持ってもらうために、日本天文学会のウェブサイトから閲覧できる天文学辞典、国立天文台が推進する市民天文学プロジェクト、「ギャラクシークルーズ」の紹介についても行った。本講演では講座内容の詳細や塾生の感想、講座の改善点などについて報告する。